

令和6年度

看護師特定行為研修

受講者募集要項

岐阜大学医学部附属病院

1. 岐阜大学医学部附属病院特定行為研修の教育理念

本院は、県下唯一の大学病院（医科）であり、地域の中核病院として看護人材の育成と地域連携を強化してきました。現在、岐阜県においても高齢者に対する医療ニーズの高まりや、医療関係者の偏在等が問題となっています。これらの問題を解決するために、急性期医療や地域医療における特定行為研修修了看護師の活躍が期待されます。研修の理念は、研修修了者が各施設や地域等において、専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働する中でキーパーソンとして活躍し、新たな医療提供体制の発展に寄与する看護師を育成することです。

2. 特定行為研修の目的・目標

1) 目的

本研修の目的は、高度な医療の現場において、医療安全を配慮しつつ、特定行為に必要な専門的な知識及び技術を教育し、社会に貢献できる自律した看護師を育成することです。

2) 研修目標

- (1) 迅速かつ包括的なアセスメントを行い、当該特定行為を行う上での知識、技術及び態度の基礎的能力を養う。
- (2) 看護の視点をもって患者の安心に配慮しつつ、必要な特定行為を安全に実施できる基礎的能力を養う。
- (3) 問題解決にむけて、多職種と効果的・効率的に協働できる能力を養う。

3. 研修コース名

以下のコースを開講します。*p. 3～5参照

- 1) 麻酔コース : 術中麻酔管理領域パッケージ、循環動態に係る薬剤投与関連
- 2) 外科コース : 術中麻酔管理領域パッケージ、循環動態に係る薬剤投与関連
胸腔ドレーン管理関連
腹腔ドレーン管理関連
栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連
創部ドレーン管理関連
- 3) 選択コース : 選択区分A, B, Cから選択可能（p. 5の別表から選択。組み合わせは自由）

*外科コースの区分別科目については、厚生労働省が認める領域別パッケージ研修とは同一ではありません。

*共通科目未修了者は1) または2) から選択できます。

*共通科目修了者は1) ～ 3) から選択できます。

4. 研修内容と時間数

研修は共通して学ぶ「共通科目」と、特定行為区分ごとに学ぶ「区分別科目」に分かれており、それぞれの科目は、講義、演習または実習によって行われます。

- 1) 共通科目（必修科目）：特定行為区分に共通して必要とされる能力を身につけるための科目
（研修期間：6 か月程度）

共通科目名	時間数
臨床病態生理学	30 時間
臨床推論	45 時間
フィジカルアセスメント	45 時間
臨床薬理学	45 時間
疾病・臨床病態概論	40 時間
医療安全学	45 時間
特定行為実践	
合計時間数	250 時間

* 共通科目は「全日病S-QUE eラーニング 看護師特定行為研修」のeラーニング教材を使用します。視聴は自宅で可能ですが、随時、演習・筆記試験・実習のための登校が必要です。また、「臨床推論」「フィジカルアセスメント」「医療安全学」「特定行為実践」は筆記試験に合格後、実習へ進み観察評価を実施します。

- 2) 区分別科目：各特定行為に必要とされる能力を身につけるための科目

本院は区分別科目について、「麻酔コース」「外科コース」「選択コース」という名称で3コースを開講します（表1）。「麻酔コース」は、術中麻酔管理領域パッケージに循環動態に係る薬剤投与関連の1区分を追加して開講します。「外科コース」は、「麻酔コース」に、胸腔ドレーン管理関連、腹腔ドレーン管理関連、栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連、創部ドレーン管理関連の4区分別科目を追加して開講します。「選択コース」は、循環動態に係る薬剤投与関連、胸腔ドレーン管理関連、腹腔ドレーン管理関連、栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連、創部ドレーン管理関連、呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連、栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連を開講します（別表）。
（研修期間：全区分 6 ～7か月程度）

(1) 開講区分

表 1

	区分別科目	特定行為	講義・演習時間数	症例数	コース名		
					麻酔	外科	選択
術中麻酔管理領域パッケージ	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	・経口気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	10 時間	5 症例	○	○	
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	・侵襲的陽圧換気の設定の変更	18 時間	各5 症例	○	○	
		・人工呼吸器からの離脱					
	動脈血液ガス分析関連	・直接動脈穿刺法による採血	14 時間	各5 症例			
		・橈骨動脈ラインの確保					
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	・脱水症状に対する輸液による補正	12 時間	5 症例			
	術後疼痛管理関連	・硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	9 時間	5 症例			
循環動態に係る薬剤投与関連	・持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	13 時間	5 症例				
区分別科目	循環動態に係る薬剤投与関連	・持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	29 時間	各5 症例	○	○	○
		・持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整					
		・持続点滴中の降圧剤の投与量の調整					
		・持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整					
		・持続点滴中の利尿剤の投与量の調整					

区分別科目	特定行為	講義・演習時間数	症例数	コース名			
				麻酔	外科	選択	
胸腔ドレーン管理 関連	・低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及びその変更	14 時間	各5 症例		○	○	
	・胸腔ドレーンの抜去						
腹腔ドレーン管理 関連	・腹腔ドレーンの抜去（腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む。）	9 時間	5 症例				
栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	・中心静脈カテーテルの抜去	8 時間	5 症例				
創部ドレーン管理 関連	・創部ドレーンの抜去	6 時間	5 症例				
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	・気管カニューレの交換	9 時間	5 症例				○
栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	・末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	9 時間	5 症例				

* 区分別科目は eラーニング を中心とした講義及び演習を受講後（一部実技試験に合格後）、筆記試験及び実習時の観察評価によって、科目ごとの可否を判定します。

臨地実習は原則所属する施設にて行います。実習で症例を経験するためには約1か月～4か月は通常勤務は困難であり、勤務先との調整が必要となります。

別表

選択区分	区分別科目名
A	循環動態に係る薬剤投与関連
B	胸腔ドレーン管理関連
	腹腔ドレーン管理関連
	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連
	創部ドレーン管理関連
C	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連
	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連

5. 修了要件

修了要件は、共通科目、区分別科目を履修し、筆記試験、実技試験、実習の観察評価等、科目ごとの合格を条件とします。さらに、修了認定は関係指導者と本院内の特定行為研修管理委員会で審議の上行います。

6. 既修得科目履修免除等

本院又は他機関が実施した特定行為研修において共通科目及び区分別科目を修了した者は、出願時に既修得科目履修免除申請書（別記様式 7）に当該特定行為研修の修了証を添えて申請するものとします。本院内の特定行為研修管理委員会で履修免除の可否を決定します。

7. 定員

1) 麻酔コース : 定員 14 名 以内

2) 外科コース : 定員 4 名 以内

* 1) と 2) を合わせて、共通科目未修了者は定員 10名 以内

3) 選択コース : (各区分) 定員 4 名 以内

* 3) は共通科目修了者のみ対象です。

注：共通科目修了者は 1) ～ 3) のコースを選択できます。

8. 研修期間と募集時期

研修期間	1) 麻酔コース	1 年（共通科目修了者は最長 6 か月程度）
	2) 外科コース	1 年（共通科目修了者は最長 7 か月程度）
	3) 選択コース	最長 7 か月程度

在籍期間は、原則として最長 2 年間とする。

募集時期 年 1 回（4 月入学）

9. 受験資格

次の各号に定める要件をすべて満たしている必要があります。

- 1) 看護師免許を有すること。
- 2) 看護師の免許取得後、通算 5 年以上の実務経験を有すること。そのうち、通算 3 年以上は関連する領域（急性期病棟、ICU、CCU、ER、手術部）の実務経験を有することが望ましい。
- 3) 施設長の推薦を有すること。
- 4) 学業優先で受講可能で、全ての過程を受講できること。
- 5) 今後、特定行為を行い、看護の発展と社会貢献に努める意欲があること。
- 6) 原則、自施設での臨地実習を行うことができること。
- 7) 研修期間中、全ての課程を受講できるよう心身共に健康であること。

10. 出願手続き

1) 募集要項請求方法

岐阜大学医学部附属病院ホームページ「岐阜大学医学部附属病院 看護師特定行為研修」から必要書類をダウンロードしてください。

2) 出願期間 令和5年10月2日(月)～令和5年10月27日(金) 必着

3) 出願提出書類

- (1) 受講願書(別記様式 1)
- (2) 履歴書(別記様式 2)
- (3) 受講志願理由書(別記様式 3)
- (4) 推薦書(別記様式 4) ※原則として所属組織の推薦とする。
- (5) 緊急連絡先届(別記様式 5)
- (6) 職務経歴書(別記様式 6)
- (7) 既修得科目履修免除申請書(別記様式 7) ※特定行為研修修了者のみ提出のこと。
- (8) 看護師免許(写) ※A4サイズで印刷し提出のこと。
- (9) 専門・認定看護師認定証(写) ※専門・認定看護師のみ提出のこと。
- (10) 受験審査料の振り込みを確認できる書類の写し

4) 出願書類提出方法

〒501-1194

岐阜市柳戸1番地1

岐阜大学医学部附属病院 看護部管理室 看護師特定行為研修担当

※必ず「郵便書留」で送付するか、又は直接持参してください。

TEL: 058 (230) 7175 (問合せ窓口)

5) 受験審査料

受験審査料10,000円(消費税を含む)

*受験審査料は、出願期間中に以下の受験審査料振り込み先に申請者本人名で振り込んでください。受験審査料の振り込み手数料は、申請者の負担となります。

受験審査料振込先

銀行名 十六銀行 黒野支店
口座番号 1362310 普通預金
口座名義 国立大学法人東海国立大学機構
岐阜大学医学部附属病院口

11. 選考方法

書類選考及び面接により行います。面接は令和5年11月6日(月)を予定しており、決定次第、電話又はメールでご連絡いたします。平日日中連絡が取れる連絡先を出願提出書類にご記載下さい。選考結果については本人及び所属長宛てに簡易書留速達にて郵送します。電話やFAXでの可否の問合わせには応じられません。

1 2. 受講納付金の振り込みについて

1) 納付金（消費税込）は、本院から送付する特定行為研修の受講納付金納付依頼に基づき振り込んでください。

2) 振り込み期間

令和6年1月4日（木） ～ 令和6年1月19日（金）

3) 受講納付金

(1) 共通科目受講料 458,000円（消費税を含む）

(2) 区分別科目受講料

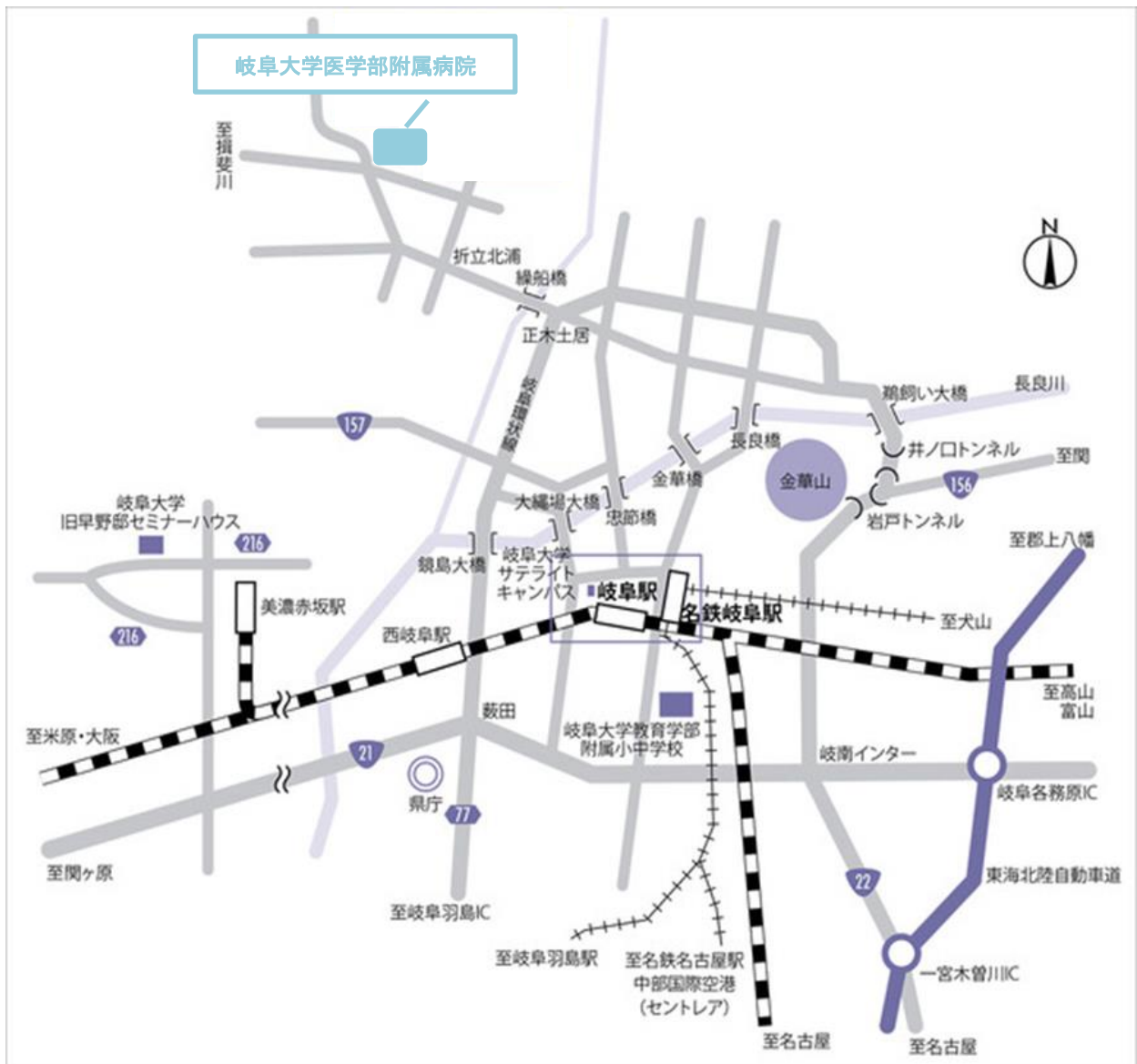
区分別科目・パッケージ名	受講料 (消費税を含む)
術中麻酔管理領域パッケージ	340,000円
循環動態に係る薬剤投与関連	88,000円
胸腔ドレーン管理関連	44,000円
腹腔ドレーン管理関連	31,000円
栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	26,000円
創部ドレーン管理関連	22,000円
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	31,000円
栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	31,000円

- 一旦納めた受講料は原則として返還しません。
- 研修のための宿泊及び交通費等は実費自己負担となります。

● 個人情報の取扱いについて

岐阜大学医学部附属病院では「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の適正な取り扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じております。出願および受講手続にあたって提供いただいた個人情報は、選考試験の実施、合格発表、受講手続、履修関係等の必要な業務において使用させていただきます。なお、当院が取得した個人情報は、法律で定められた適正な手続により開示を求められた場合以外に、本人の承諾なしに第三者へ開示・提供することはありません。

1 3. 交通案内



自家用車を利用する場合

名神高速道路

岐阜羽島ICから約40分（約20km）

名神高速道路

一宮ICから約50分（約25km）

東海北陸自動車道

岐阜各務原ICから約40分（約20km）

鉄道を利用の方

J R

東海道線「岐阜駅」で下車

名古屋鉄道

名鉄本線「名鉄岐阜駅」で下車

バスを利用の方

岐阜大学・病院線

J R 岐阜駅起点（名鉄岐阜駅・徹明町・千手堂・忠節経由）

岐南町線

三宅起点（J R 岐阜駅・名鉄岐阜駅・柳ヶ瀬・長良橋・長良北町経由）

岐阜高富線

高富起点（三田洞・長良北町乗り換え・鷺山経由）

岐大ライナー

岐阜バスターミナル起点（J R 岐阜駅・岐阜大学経由）

清流ライナー

J R 岐阜駅起点（西野町・北高前・正木マーサ前経由）

●岐阜大学医学部附属病院 看護師特定行為研修担当

（問合せ窓口）

〒501-1194 岐阜市柳戸1番地1

TEL：058（230）7175

e-mail：tokutei@t.gifu-u.ac.jp